

令和8年2月18日

## 福島県復興祈念公園（浪江町・双葉町）予定地に ミズアオイなど絶滅危惧種の生育を確認

令和7年度、共生システム理工学類生物多様性保全研究室が福島県復興祈念公園で実施した植物相調査の結果、ミズアオイ、オオクグ、タタラカンガレイ、ウスゲチョウジタデ、ヤナギヌカボの5種の絶滅危惧種が、水辺の広場を中心に公園内に生育していることを確認しました。この調査結果をふまえ、当研究室ではミズアオイ等の具体的な保全・活用策について福島県と協議を進めてまいります。

双葉町から浪江町に設置される福島県復興祈念公園は、公園の北部（浪江町両竹原田、両竹蛭田、両竹本町地内の一部）に震災の地盤沈下やその後の冠水により生じた湿地を中心に自然が再生する姿を見守ることを目的とし、希少種等が確認されている現状の湿地環境を保全する水辺の広場を設けています。

福島大学共生システム理工学類生物多様性保全研究室では、復興祈念公園を管理する福島県の協力のもと、令和7年度に公園内の植物相調査を行ったところ、これまでにミズアオイ、オオクグ、タタラカンガレイ、ウスゲチョウジタデ、ヤナギヌカボの5種の絶滅危惧種が、水辺の広場を中心に公園内に生育していることを確認しました。

この中でも、ミズアオイは東日本大震災の際に、福島県から岩手県までの津波跡地の各地で大群落を形成しました。青い花のお花畑で被災地を勇気づける植物として、全国や地方の新聞などのメディアでしばしば取り上げられ、話題となった植物です。

当研究室ではミズアオイ等の具体的な保全・活用策について福島県と協議してまいります。

■令和7年度に復興祈念公園予定地で確認された絶滅危惧種とその生育場所

| 種名        | 確認場所   | 確認環境   | 確認数      |
|-----------|--------|--------|----------|
| ミズアオイ     | 水辺の広場  | 池      | 24 株     |
|           | 両竹地区集落 | 湿地     | 数株       |
| オオクグ      | 水辺の広場  | 湿地     | 数株       |
|           | 両竹地区集落 | 湿地     | 約 200 株  |
| タタラカンガレイ  | 水辺の広場  | 池      | 41 株     |
| ウスゲチョウジタデ | 水辺の広場  | 池      | 約 500 株  |
| ヤナギヌカボ    | 水辺の広場  | 池周囲の湿地 | 約 1000 株 |

■植物および用語の解説

・ミズアオイ（ミズアオイ科）*Monochoria korsakowii* Regel et Maack

環境省第5次レッドリスト：準絶滅危惧

福島県レッドリスト（2024年版）：絶滅危惧 II 類

湖沼、水田、水路などに生育する一年草の水生植物。土地造成、河川改修、遷移進行による生育条件の悪化が指摘されている。東日本大震災時の津波跡地の各地で群生し、話題となった。

・オオクグ（カヤツリグサ科）*Carex rugulosa* Kük.

環境省第5次レッドリスト：準絶滅危惧

福島県レッドリスト（2024年版）：絶滅危惧 II 類

河口などに生育する多年草。産地が局限している上に、海岸開発、土地造成による生育条件の悪化が指摘されている。

・タタラカンガレイ（カヤツリグサ科）*Schoenoplectiella mucronata* (L.) J. Jung et H.K. Choi var. *tatarana* (Honda) Yashiro

環境省第5次レッドリスト：(未掲載)

福島県レッドリスト（2024年版）：絶滅危惧 IB 類

池沼の湿地などに生育する多年草の水生植物。土地造成による生育条件の悪化が懸念される。

・ウスゲチョウジタデ（アカバナ科）*Ludwigia epilobioides* Maxim. subsp. *greatrexii* (H. Hara) P. H. Raven

環境省第5次レッドリスト：準絶滅危惧

福島県レッドリスト（2024年版）：絶滅危惧 IA 類

水田、湿地に生育する一年草。農薬による生育条件の悪化が指摘されている。

・ヤナギヌカボ（タデ科）*Persicaria foliosa* (H.Lindb.) Kitag. var. *paludicola* (Makino) H. Hara

環境省第5次レッドリスト：準絶滅危惧

福島県レッドリスト（2024年版）：絶滅危惧II類

湿地に生育する1年草。池沼開発、水位変動による生育条件の悪化が指摘されている。

#### ■植物相調査

ある場所に生育する植物の全種類を把握し、植物目録などを作成するために行う調査。

#### 【研究メンバー】

- ・田中聡実（福島大学共生システム理工学類 4年生）
- ・石倉颯太（福島大学大学院共生システム理工学研究科 博士前期課程2年生）
- ・出島聖也（福島大学共生システム理工学類 客員研究員）
- ・山ノ内崇志（福島大学共生システム理工学類 特任助教）
- ・黒沢高秀（福島大学共生システム理工学類 教授）

※本研究は以下の研究助成を受けて行われたものです。

JSPS 科研費 23H00528 「津波被災地の海岸防災施設における環境保全事業の多面的評価」（研究代表者：福島大学黒沢高秀）

JSPS 科研費 25K03372 「「復興する力」を有する持続可能な観光地形成に向けたプロセスの研究」（研究代表者：文教大学海津ゆりえ）

（お問い合わせ先）

共生システム理工学類・教授 黒沢 高秀

電話：024-548-8201

メール：kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp



図 1. 福島県復興祈念公園予定地の水辺の広場で確認されたミズアオイ(青い花の植物).  
令和 7(2025)年 9 月 1 日撮影.



図 2. 福島県復興祈念公園予定地の水辺の広場で確認されたミズアオイの花.  
令和 7(2025)年 9 月 15 日撮影.



図 3. 福島県復興祈念公園予定地の水辺の広場で確認されたウスゲチヨウジタデ(黄色い花の植物).  
令和 7(2025)年 8 月 15 日撮影.